

海外日程表

ツアー名 高橋様グループゆったりキナバル 山登頂とマシラウルート 株式会社 西遊旅行

旅行期間 2010年02月04日(木)～2010年02月09日(火) 6日間

日次	日付	都 市	交通機関	現地時間	摘 要	食事
1	02月04日 (木)	東京 発 コタキナバル 着	MH-81	13:30 18:35	空路、直行便でマレーシア・サバ 州の州都コタキナバルへ。 着後、ガイドの出迎えを受けホテ ルへ。 コタキナバル泊	— 昼機 夕食
2	02月05日 (金)	3,300m付近の山小屋滞在			専用車にてパークヘッドクォータ ー(キナバル国立公園事務所)へ 。着後、登山ガイド、ポーターと 合流し、バスで登山口(約1,800m)へ。 ●3,300mの山小屋までの登り(約 6時間) 登山開始。ジャングルの道をゆっ くり登り、標高3,300mにある山小 屋へ。 3,300m付近の山小屋泊	朝食 昼食 夕食
3	02月06日 (土)	3,300m付近の山小屋滞在			●キナバル山登頂(約5時間) 山小屋を出発。氷河が削り出した 岩盤と奇峰の絶景の中を登り、山 頂のローズ・ピーク(4,095.2m) に登頂。その後、山小屋へ戻りま す。 3,300m付近の山小屋泊	朝食 昼食 夕食
4	02月07日 (日)	マシラウ滞在			●マシラウルートを下山(約5～ 6時間) 往路とは違うもう一つの登山道「 マシラウルート」を下山。ウツボ カヅラの観察やキナバル山の展望 を楽しみながら下ります。この 日の宿泊はマシラウ・ネイチャー ・リゾートです。周辺のジャング ルウォーク等をお楽しみ下さい。 マシラウ泊	朝食 昼食 夕食
5	02月08日 (月)	コタキナバル 発 クアラルンプール 着 クアラルンプール 発	MH-2613 MH-88	15:30 17:55 23:35	専用車にてコタキナバルへ戻りま す。昼食は海鮮料理をご賞味下さ い。 昼食後、ガイドの見送りを受けて 空港へ。夕方の便でクアラルンプ ールへ。 着後、渡辺様、古川様は航空機を 乗り換えて帰国の途へ。 高橋様はご自身でホテルへ。 機中泊	朝食 昼食 夜機
6	02月09日 (火)	東京 着		07:15	朝、成田空港に到着。	— — —

世界各地へのツアーや個人旅行・格安航空券は、シルクロード・秘境旅行のパイオニア 西遊旅行にお任せください



西遊旅行 SAIYU TRAVEL

●お申し込み・お問い合わせ
パンフレットのご請求は



0120-811391

フォームからのお申し込みは [コチラ](#)



▶トップ ▶特集 ▶月別ツアー早見表 ▶方面別ツアー一覧 ▶格安航空券・個人旅行 ▶WEB写真集 ▶西遊新聞

▶お問い合わせ

方面別ツアー一覧

- 中国・モンゴル
- 南アジア
- 東南アジア・オセアニア
- 中央アジア・中近東
- アフリカ
- 北米・中米・南米
- ヨーロッパ・ロシア
- 登山・トレッキング・ハイキング

特集

- チベットの旅
- シルクロードの旅
- インドの旅
- 中央アジア5ヶ国の旅
- ブータンの旅
- パキスタンの旅
- ネパールの旅
- サハラの旅
アルジェリア・リビア・スーダン・モリタニアほか
- キナバル山の旅
- 中近東の旅
イラン・イスラエル・イエメン・ヨルダンほか
- アジア民族の旅

▶ ゆったりキナバル山登頂とマシラウルート (4,095m)

山小屋2泊のゆとりの行程、下山はマシラウルートを利用

ボルネオ島のジャングルに聳え立つ4,000m峰に登る
登山内容にこだわり抜いたプラン



© SAIYU TRAVEL CO., LTD.

標高4,000m、キナバルサウスを眼下に望む

▶ パンフレット請求

▶ ツアーのお問い合わせ

▶ 少人数から出発！
個人旅行・フリープラン

キナバル山
特集ページはこちら
ツアー一覧、個人旅行、基本情報
登山マップなど

★ここに注目！

2名様から催行
10名様以上で添乗員同行
添乗員が同行しない場合でも、現地では日本語ガイドがご案内しますので、安心してご参加いただけます。

もうひとつの登山ルート マシラウルート

1998年に開通した、標高2,621mのラヤン・ラヤン小屋とマシラウ・ネイチャー・リゾートを結ぶルート。一般ルートに比べると非常に植生が豊かで、ボルネオを代表する熱帯植物「ウツボカズラ」やランをここでは数多く見ることが出来ます。

熱帯雲霧林に尾根からの展望と、変化に富んだ山行を楽しむことができるのもこのルートの大きな魅力です。登山者の少ないルートをゆっくり歩き、マシラウ・ネイチャー・リゾートへ。

下山後は、また違った角度からキナバル山を展望できる、静かなリゾートの滞在をお楽しみ下さい。



© SAIYU TRAVEL CO., LTD.

食虫植物ウツボカズラ

みどころ

- キナバル山の登山は、ルートや宿泊施設がしっかり整備されていますので、4,000m峰ながら短期間での登頂が可能です。熱帯雲霧林の生い茂るジャングル、高所の灌木帯、氷河の浸食によって創られた奇峰群。変化に富んだ登山をお楽しみいただけます。
- 山小屋2泊のゆったりプランですので、時間を気にせず展望を楽しみながら山頂を目指すことができます。さらに復路は植生豊かなマシラウルートで下山。1日の歩行時間は5～6時間に抑え、あくまで登山内容にこだわりました。



© SAIYU TRAVEL CO., LTD.

山小屋のひとつラパンタ



© YOSHIMIZU SAKAMOTO

ドンキーズ・イヤーを見ながら登る



マシラウルートの尾根上から山頂の奇岩群を展望



▲クリックすると拡大します



◆ キナバル国立公園



▲クリックすると拡大します

登頂証明書を発行

下山後、キナバル国立公園事務所より、登頂者全 員の方に登頂証明書とマシラウルート完歩証が発行されます。山旅の記念として、名前入りの登頂 証明書をお持ち帰り下さい。



© SAIYU TRAVEL CO. LTD.

日程		出発日と料金
都市名	概要	
1 東京・大阪 コタキナバル	空路、東京・大阪より直行便又はクアラルンプール乗り換えで、それぞれコタキナバルへ。着後、ホテルへ。 ※添乗員同行の場合は、東京・大阪のどちらか一方より同行し（往復）、コタキナバル又はクアラルンプールにて合流。 コタキナバル泊	
2 コタキナバル パークヘッドクォーター 3,300mの山小屋	専用車にてパークヘッドクォーター（キナバル国立公園事務所）へ。着後、ガイドやポーターと合流し、バスで登山口（約1,800m）へ。 3,300mの山小屋へ（約6時間）登山開始。 ジャングルの道をゆっくり登り、標高3,300mにある山小屋へ。 3,300m付近の山小屋泊	
3 3,300mの山小屋 （ローズ・ピーク）	キナバル山登頂（約5時間） 山小屋を出発。氷河が削り出した岩盤と奇峰の絶景の中を登り、 山頂のローズ・ピーク（4,095m）に登頂。 その後、山小屋へ戻ります。 3,300m付近の山小屋泊	
4 3,300mの山小屋 マシラウ	マシラウルートを下山（約5時間） 往路とは違うもう一つの登山道「マシラウルート」を下山。ウツボカヅラの観察やキナバル山の展望を楽しみながら下ります。この日の宿泊は マシラウ・ネイチャー・リゾート です。周辺のジャングルウォーク等をお楽しみ下さい。 ※前日に登頂できなかった場合は、この日に再挑戦することができます。 マシラウ・ネイチャー・リゾート泊	
5 マシラウ コタキナバル	専用車にてコタキナバルへ戻ります。昼食は 海鮮料理 をご賞味下さい。自由行動の後、直行便又はクアラルンプール乗り換えで、東京・大阪それぞれ帰国の途につきます。 機中泊	
6 東京・大阪	着後、解散。	

※ 運輸機関のスケジュールの変更、遅延、運行の中止や道路状況などにより、宿泊地や訪問地の順序が変わったり、日程内容に変更が起こることがあります。

※ 食事回数：朝4／昼4／夜3：機内食は除く

※ 利用予定航空会社：マレーシア航空

※ 詳細日程については必ずパンフレットをご請求になり、記載の日程表をご覧ください。パンフレットのご請求は[こちら](#)。

出発日と料金

	2009年～2010年 出発日～帰国日	日数	東京発着	大阪発着
A	10月05日（月）～ 10月10日（土）	6日間	168,000円	168,000円
B	11月02日（月）～ 11月07日（土）	6日間	168,000円	168,000円
C	12月14日（月）～ 12月19日（土）	6日間	168,000円	168,000円
D	12月28日（月）～ 01月02日（土）	6日間	248,000円	248,000円
E	01月25日（月）～ 01月30日（土）	6日間	168,000円	168,000円
F	02月15日（月）～ 02月20日（土）	6日間	168,000円	168,000円
G	03月22日（月）～ 03月27日（土）	6日間	168,000円	168,000円
H	04月05日（月）～ 04月10日（土）	6日間	168,000円	168,000円

※ 海外での空港税は全て旅費に含まれます。

※ 別途、航空機の燃油サーチャージ（付加運賃）が必要となります。目安料金は 5,600円～6,200円です（6月4日現在）。原油価格の変動により変更することがあります。

[>>燃油サーチャージのご案内はこちら](#)

- 日本の国内線割引は： お問い合わせ下さい。
- 最少催行人員： 2名 （10名以上で添乗員同行）
- お一人部屋使用料： 15,000円（山小屋泊除く）
- 特別価格のため、再利用割引等はありません。

ご参加の方へ

- 査証（ビザ）は： 不要です。旅券の残存有効期間は、入国時に6ヶ月以上必要です。
- 気候・服装は： 平地では夏服で過ごせます。登山中は半袖又は長袖シャツが基本となりますが、山小屋の朝晩は5℃前後と冷え込みますので防寒具が必要です。年間を通じて雨の多い地域ですので、雨具は必ずお持ち下さい。靴は防水の利いたトレッキングシューズが最適です。
- 利用予定ホテルは： パンフレット巻末のホテルリストをご覧ください。パンフレットのご請求は[こちら](#)。

ご 注 意

- 登山や高山病について： 登山技術は必要なく、歩くことが好きな方でしたらどなたでもご参加いただけます。ただし、山小屋や山頂付近では、頭痛等の軽度の高山病の症状が出る場合がありますので、心臓疾患や高血圧、その他の既往症のある方のご参加はおすすめできません。高山病対策として、添乗員はパルスオキシメーター（血中酸素飽和度測定装置）を持参し、皆様の健康管理をいたします。また、ご参加の方には海外旅行保険のご加入をお願いしております。
[>>高山病についてのご注意と取り組み](#)
- 荷物について： 登山中はポーターが同行し、お一人につき5kg分の荷物をお持ちします。それ以上の重量は超過料金がかかります。
- 宿泊施設について： 山小屋ではお一人に一つずつのベッドをご利用いただく、ドミトリー形式の大部屋泊となります。マシラウではロッジ泊となります。バスタブはなくシャワーのみで、お湯の出が悪いことがあります。ロッジの部屋数には限りがありますので、御一人部屋をお取りできないことがあります。その場合は変更補償金の対象外とさせていただきますが、生じた差額は返金いたします。

[>>ページトップへ](#) [>>戻る](#)